



第48回 定時総会

人を生かす経営で光り輝く地域をつくる

～語り「愛」のある小さな一流企業を広げ、地域の希望となる～

開会挨拶

香川同友会 代表理事 **林 哲也 氏**

香川県ケアマネジメントセンター(株)
代表取締役

皆さんこんにちは。今日は3年間のコロナ禍を乗り越えて、リアルで定時総会が開催できることをお互いに喜び合いたいと思います。

私たちはこれまでの3年間、多くの困難な状態に立ち向かいながらも、経営と同友会運動を止めないことを基本に、香川同友会は「語り「愛」のある小さな一流企業となり、地域の希望となろう」を掲げて運動を進めてきました。この間の運動を踏まえて、この総会では3つの潮目の変化を確認したいと思います。

1つ目は、価格決定権のある企業づくりの大切さです。5月16日に行政、経済団体などの12の機関と労務費やエネルギーコストなどの上昇分の価格変化による協定を締結いたしました。これは全国で4番目、四国では初めての協定でした。この協定を踏まえて、会員企業では価格

決定権のある企業づくりが真剣に目指すことが求められていると考えております。そのために、経営指針の成文化と徹底実践をする企業づくりが大事になっていると思います

2つ目は、地域づくり運動が新たな局面に係っていることであります。共育型インタースhip運動では、今年3月に香川県教育委員会と香川同友会が包括連携協定を締結しました。この運動の目的は、若者が地域に自分らしく働ける企業があることを知り、希望をもつて帰って来ることが実現できるようにすることです。これは決してボランティア活動ではありません。企業づくりと地域づくりの重要な運動であります。

この目的にふさわしい運動を県下各地で推進していくことを確認したいと思います。また、三木町では昨年春の中小企業振興条例制定の過程で、地域や行政から「同友会がもっと大きくなっていければ」という声が寄せられました。で三木支部設立の運びを準備してきましたが、本総会では三木支部設立の承認

提案ができる段階になったことを確認したいと思います。

3つ目は、これから3年先の2025年に向けて、大きな変化が見込まれることです。

2025年は大阪万博が、香川では瀬戸内国際芸術祭、サンポート高松の開発など、経営環境が変化していきます。この変化をさらに活かすところに、企業変革のチャンスが生まれてきます。またこの年は、青年経営者全国交流会を香川に誘致して開催し、同友会として全国から学ぶ機会を得ることになっております。

本日の記念講演では『ファーストペンギン』で有名な坪内氏にお話をいただきますが、変化の兆しを現実のものにする経営を学び、成長することを強調して開会の挨拶とします。よろしくお願いいたします。



ご来賓のご挨拶①

高松市長

大西 秀人氏

本日は香川県中小企業家同友会第48回定時総会が、このように関係の皆さま方お集まりのもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。林代表理事、小西代表理事をはじめ、皆様方には日頃から本市の商工業の振興はもとより、市政全般にわたりを賜っており、格別のご理解とご協力を賜っておりますことを、改めて厚く御礼を申し上げます。

また、私事で恐縮でございますが、さる4月23日の高松市長選挙におきましては、5回目の当選を果たすことができました。これも多くの市民の皆さま方のご支援ご支持のお陰でございます。心から感謝申し上げます。

さて、コロナは比較的収まっておりますけれども、物価高騰等の影響により、社会経済情勢は厳しい状況が続いております。また、人口減少、少子超高齢化の進展により、人手不足もあいまって、とくに地方都市では地域活動の低下が懸念されているところでございます。



このような中においては、地域が一体となって、官民協調で地域経済の活性化に取り組んでいくことがこれまで以上に必要であると存じております。現在広島ではG7サミットが開催されておりますが、本市におきましても来る7月7日から9日まで、サミットの関連閣僚会議の都市大臣会合が開催されます。このG7の大きな国際会議に合わせて本市としての国際的な認知度や都市としての魅力向上はもとより、地域を支える産業の振興と活性化により一層努め、活力を失わない持続可能なまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、香川県中小企業家同友会の益々のご発展並びにご隆盛、また林代表理事をはじめ、皆さま方のご健勝とご活躍を心からご祈念を申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

ご来賓のご挨拶②

香川県教育委員会教育長

淀谷 圭三郎氏

皆さんこんにちは。本日は第48回定時総会にお招きいただきありがとうございます。開会にあたりまして、林代表理事、そして小西代表理事をはじめ会員の皆様におかれましては、この盛会をお祝い申し上げます。

中小企業家同友会におかれましては、これまで本県の教育活動をご理解、ご指導をいただいているところでございます。合同企業説明会の参加に留まらず、インターシップは、参加した高校生が成長するだけでなく、会員企業の皆様方にとりましても改めて自社の存在価値を見出す契機と考えていらつしやるとお聞きしております。非常に感動しております。この共育型のインターシップは、地域で若者を育てることにつながるわけでございまして、素晴らしい取り組みであると、教育現場からお話を伺っております。

先月の勉強会には、県教育委員会、学校現場からも教職員が参加



して、事例等をお聞かせいただきました。また、今年3月には香川県教育委員会との間で次世代を担う人材の育成を図り、地域社会の活性化に貢献するため包括的連携に関する協定を締結させていただきました。県立高校における教育の充実とともに、高校生が地元企業についてしっかりと知る。そして経営者のお人柄に触れる機会として、大変有意義なものだと考えております。今後、この協定のもとに、教職員との意見交換会や事業見学など、発展的に活動してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

結びになりますが、香川県中小企業家同友会の益々の発展並びに、香川の子供たちの成長、そして地域の活性化を心から祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

第2部 記念講演

ファーストペンギン シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡

講師 (株) CHIBLI / 代表取締役 坪内知佳氏

変化と挑戦

第48回定時総会第2部記念講演でご登壇いただいたのは、(株) CHIBLI(ギブリ) / 代表取締役の坪内知佳氏でした。講師選定理由のキーワードは「女性活躍」と「香川同友会のコロナ終息宣言」でした。本総会実行委員長の中西利枝氏(高松第1支部)は女性リーダーであり、報告者も社会で活躍している女性がいいという理由で女性に絞りました。

また、コロナが終息して3年ぶりにリアル開催ができたため、今までにない動員目標を掲げ、「コロナが終息したぞ!」というメッセージを同友会メンバーに発信することと同時に「時代の変化に負けるな!」という強い想いが実行委員会内であったため、同友会メンバーを一人でも多く集められる工夫として著名人にしよう」と記念講演部会内で話し合いました。そこで、昨年テレビドラマ

『ファーストペンギン』のモデルとなった坪内氏にお願いする事としました。

講演内容については、定時総会のスローガンにもある「人を生かす経営」についてと、新型コロナウイルスの影響で時代が激変したことから「変化と挑戦」についてご自身の体験から、それに沿った内容で講演していただくようお願いしました。

坪内氏の事業が成功されるまで、ご自身の取り巻く環境は常に物凄い逆風が吹いている状況でした。過去には癌による余命宣告を受けたことや、シングルマザーで小さな子供を一人で育ててはいけないこと、それだけでも満足に働けるマイナンドに普通はなれませんが、移住した先の漁師からのお願いで会社の代表を引き受け、いきなり経営者となりました。全く知見のない漁業業界に飛び込み、「よそ者」と言われ周りから足

を引っ張られながらも漁業と安全な食を未来に繋ぐために、自分の一生を掛けて取り組みました。

荒くれ者の漁師達とぶつかり合いながらも信頼関係を築き組織をまとめ、ご自身の経営手腕で成功されたお話は、課題に目を向け取り組んでいる我々経営者にも大きな勇気を与えてくれました。

また、小さなことでも手を抜かずコツコツと行う坪内氏の姿勢や考え方にも共感しました。蝶々の羽ばたきも世界中の羽ばたきを掛け合わせると竜巻になりうること。毎日0・1%でも自分の時間を大切にして何かに取り組まれている人と、さぼってしまいう人とは一年後その差が1260倍まで開くことになるということに気付かされました。

そして、歯車にも例えられています

たが、歯車の大きさ(役割)や歯車の色(価値観や考え方)はそれぞれ違うけれど、組織の中で一つでも歯車が外れたり、噛み合わず機能しなければ全体に影響するということ。組織の中で一人ひとりが強く関わっているのだということを自社の社員にも伝えたいと思いました。

最後に、皆さんは自分の人生を掛けて何をしなければいけないのか考えていますか?そして、時代の変化を恐れず挑戦していますか?もし、できていない方がいれば坪内氏から学んだ0・1%の努力を今からコツコツ取り組み、光り輝く地域をつくる一助になりましょう。

記念講演部会長

(株)多田文房堂 代表取締役

多田 宗弘 / 記
(高松第4支部)



実行委員長のまとめ

第48回定時総会 実行委員長 中西 利枝氏
(高松第1支部)

「第48回定時総会」が高松国際ホテルにて3年ぶりに完全リアル開催されました。

参加者は第1部定時総会188名、第2部記念講演362名、第3部懇親会220名と過去最多参加者数となりました。香川同友会への取り組みに対しての期待や興味が集まっていることを実感しました。

第1部：定時総会

第1部定時総会は第48期香川同友会の目指す企業づくり・地域づくり・同友会づくりの運動を前進させ、地域の希望となることを宣言。また、30年会員表彰や第47期会員増強表彰等の表彰式も合わせて行われました。

第2部：記念講演

第2部記念講演では、ドラマ『ファーストペンギン』のモデルとなった実話。㈱GHIBLI / 代表取締役の坪内知佳氏による、島の漁業というとても厳しい経営環境下の経営の立て直しの話を、人を生かす経営実践と時代の変化に対応しながら挑戦し続ける姿とともに熱く語っていただき、その熱量が講演を拝聴した会員の皆さまに届き、今後の実践に繋がっていくだろうということを肌で感じました。

第3部：懇親会

第3部では池田県知事や教育長も最後までご参加いただき、同友会の運動について、期待のこもったお言



葉もいただき、我々会員もコロナ禍で会えなかった仲間たちと久しぶりにマスクなし会食を行い、笑いと感動とエネルギー溢れる懇親会になりました。

副代表理事を拝命し、県行事として今回初めての実行委員長となり、正直何から始めたらいいのか全く分からないままのスタートでしたが、先ずは一人でも多くの会員さんに香川同集会の活動や取り組み、ビジョンを知っていただきたい！そして定時総会という少し固い場所でも女性実行委員長ならではの柔らかな参加しやすい空気感の中で、楽しく多くの学びを持ち帰ってもらいたいという思いを実行委員全員で共有しながら会をつくり上げていきました。

もちろん来期に持ち越す課題もありますが、参加された方から「楽しかった！」「とても盛り上がった！」「リアル開催で久しぶりにみんなに会えて参加して良かった！」等の感想をいただきました。そして何より実行委員の皆さんから「楽しかった！」「実行委員をして良かった！」という言葉聞いて委員長をやって良かったと改めて思いました。

総会に参加された会員の皆さま、運営に関わったすべての皆さまのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。第48期も香川同友会を会員企業全員で一緒に盛り上げ、地域の希望となる小さな一流企業を目指して頑張っていきましょう！



PHOTO DIARY

定時総会の模様をスナップショット！



【ご臨席いただいた来賓の皆様】

四国財務局 局長 米田 博文氏	綾川町 町長 前田 武俊氏
四国経済産業局 局長 原 伸幸氏	琴平町 町長 片岡 英樹氏
香川県 知事 池田 豊人氏	多度津町 町長 丸尾 幸雄氏
高松市 市長 大西 秀人氏	まんのう町 町長 栗田 隆義氏
丸亀市 市長 松永 恭二氏	株式会社百十四銀行 頭取 綾田裕次郎氏
坂出市 市長 有福 哲二氏	株式会社香川銀行 頭取 山田 徑男氏
善通寺市 市長 辻村 修氏	高松信用金庫 理事長 大橋 和夫氏
観音寺市 市長 佐伯 明浩氏	観音寺信用金庫 理事長 須田 雅夫氏
さぬき市 市長 大山 茂樹氏	香川県信用組合 理事長 右川 俊二氏
東かがわ市 市長 上村 一郎氏	独立行政法人中小企業基盤整備機構
三豊市 市長 山下 昭史氏	四国本部 本部長 樋口 光生氏
土庄町 町長 岡野 能之氏	四国職業能力開発大学校 校長 梶島 岳夫氏
小豆島町 町長 大江 正彦氏	連合香川 会長 福家 良一氏
三木町 町長 伊藤 良春氏	香川県立三木高等学校 校長 多田里香子氏
直島町 町長 小林 眞一氏	香川県立飯山高等学校 校長 大平 徹氏
宇多津町 町長 谷川 俊博氏	香川県教育委員会 教育長 淀谷圭三郎氏

各種表彰紹介



懇親会開会挨拶 小西代表理事 乾杯の挨拶 上野相談役



支部長・委員長挨拶



歓談のひととき



動画：共育型インターンシップ（三木高校動画）配信



広島県同友会 第51回青年全国交流会 PR